Q-AOS

ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.046

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら

2022 4.20（水） 12:10〜12:50

12:10-12:15	◆ 演者紹介
12:15-12:40	◆ プレゼン
12:40-12:50	◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_IXdGfUwDQfexLSdGEeu4sg

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

若手科学者がリードする「アカデミー」活動 〜科学者として生きる、とは何かを考えながら〜

司会：横田 文彦 准教授（Q-AOS 研究推進コーディネーター）

岸村 顕広 准教授／総長補佐

工学研究院 応用化学部門

17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

日本でいうところのナショナルアカデミーは日本学術会議であるが、一昨年から期せずして一般に名前が知られるようになったものの、その活動内容については未だにあまり知られていないと思われる。ましてや、若手科学者がその中で活動をしていることなど、さらに知られていない状況が続いている。今回は、その活動の一端を紹介するとともに、次の世代の人材を発掘することにつなげていければと考えている。具体的には以下の内容を紹介する。

（1）日本学術会議と日本の若手アカデミーの活動

（2）世界の中での若手アカデミーの設立動向と Global Young Academy（GYA）

（3）今年６月の GYA 年次総会および関連イベント

岸村先生は2005年東京大学大学院工学系研究科博士課程を卒業し、博士（工学）を取得しました。2006年東京大学ナノバイオ・インテグレーション研究拠点特任助手に着任し、2007年同大学院工学系研究科助教へ異動。2013年より九州大学大学院工学研究院 /九州大学分子システム科学センター准教授に着任しています。加えて、2016年より、日本学術会議連携会員として特に若手アカデミーで精力的に活動を行い、民主主義社会における科学・科学者の役割について考えながら、学術の持続的な発展に貢献する仕事、および学術と社会をつなぐ様々な仕事に携わっています。2007年より世界的な若手研究者のアカデミー組織であるGlobal Young Academyのメンバーも務めています。このほか、2020年より、九州大学社会連携推進室科学コミュニケーション推進グループ協力教員、総長補佐の職務もこなしております。

Key Words

シチズンサイエンス
科学コミュニケーション
異分野横断ネットワーキング
キャパシティ・ビルディング
Global Young Academy
National Young Academy

Q-AOS

Contact Information　Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS)　744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN　Tel: +81-092-802-2603